

(別紙5)

整理番号 2019P-131  
補助事業名 2019年度 障害のある人が幸せに暮らせる社会を創る活動補助事業  
補助事業者名 一般社団法人 全国肢体不自由児者父母の会連合会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

① 障害児者と家族、支援者のための指導誌の発行

指導誌は、「制度はどのようにかわってきているか」と題し、制度が変わったことによって私たちの生活にどのように影響して、どう変わったか、そして他にも使えるサービスを知ることが必要である。

機関誌は、パソコンスキルが高くないと思われる高齢者層にも手軽に障害者福祉情報を入手できるツールとしてのニーズが高く、中央情勢等について最新情報を掲載する。

② 障害児者と家族、支援者の地域交流と療育訓練事業

障害児者は、歩行や座位の訓練だけでなく、集団生活を経験することで社会性や社会的自立心の向上を図る。保護者には、医師及び学識経験者、専門指導員等により訓練方法や生活指導を通じて、日常生活における療育や訓練方法を習得する。また、障害当事者と家族、支援者（ボランティア）相互の交流・情報交換を図る。

③ 地域の強化を図るための地域指導者育成セミナー〈1泊2日〉

災害時障害者は1人で逃げるの困難である。また避難所に行くことができたとしても健常者と同じように生活することが困難な人が多い。熊本地震の時の障害者がどのような行動をとったのか講演してもらい今後災害が起きた際の参考になるような講演をしてもらう。2日目は行政の方にきてもらい現状や課題等を話してもらう。

(2) 実施内容

事業内容 (<https://www.zenshiren.or.jp/publics/index/104/>)

① 障害児者と家族、支援者のための指導誌の発行

指導誌は「肢体不自由児者への合理的配慮とは～制度はどのように変わってきているか～」と題し執筆依頼した。合理的配慮と制度や21世紀に至る制度の歴史、21世紀の制度の変遷についてまとめ、一般の方々にもわかり易いような書き方で執筆してもらった。機関誌は障害者差別解消法の見直しの検討について、平成30年度障害福祉サービス等報酬改定等について、就業前の障害児の発達支援の無償化等について掲載した。障害児入所施設の現状について基本的視点、方向性、課題や連携を具体的に情報提供している。

(別紙5)

## 障害児者と家族、支援者のための指導誌の発行

指導誌「療育ハンドブック」1回発行

機関誌「いずみ」2回発行



### 指導誌「療育ハンドブック」

令和2年2月13日発行 B6版 108ページ 4000部

「肢体不自由児者への合理的配慮とは～制度はどのように変わってきているか～」制度の歴史や変遷について具体的に書かれている。「合理的配慮と制度」「21世紀に至る制度の歴史」「21世紀の制度の変遷」といったような内容を掲載している。事例を交え、わかりやすく解説した内容としている。

### 機関誌「いずみ」

ア 令和元年6月20日発行 A4版 32ページ 2500部

令和元年度通常総会報告として事業の概要や活動方針、令和元年度心身障害者に関する予算要望、レクリエーション開催予定表、障害者福祉サービス等報酬改定について、いきいき茨城ゆめ大会などを掲載。

イ 令和元年12月20日発行 A4版 32ページ 4000部

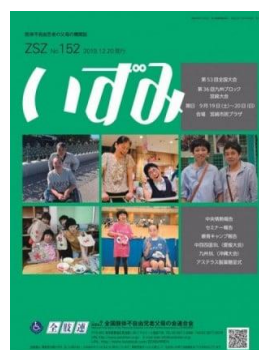
JKAの実施報告、療育キャンプ報告、アンケート集計結果、事業内容報告、中央情勢報告。

ア



いずみ No151

イ



いずみ No152

## ② 障害児者と家族、支援者の地域交流と療育訓練事業

障害児者は歩行や座位の訓練だけでなく、集団生活を経験することで社会性や社会的自立心の向上を図る。保護者には医師及び学識経験者、専門指導員等により訓練方法や生活指導を通じて、日常生活における療育や訓練方法を習得する。また1泊2日では外出体験や集団行動で協調性や自立性を促すことができる。障害当事者と家族、支援者(ボランティア)相互の交流・情報交換を図る。

(別紙5)

### 療育キャンプ事業、社会体験事業の実施

医師や学識経験者、専門指導員による訓練や指導。社会性の向上を図るために、外出体験や集団行動でも共生を身に付ける。

#### 療育キャンプ（日帰り）

ア	令和元年6月15日	24名	岩手県	「岩手県勤労身体障害者体育館」
イ	令和元年7月13日	59名	宮崎県	「宮崎市総合福祉保健センター」
ウ	令和元年8月31日	53名	石川県	「いしかわ総合スポーツセンター」

ア



イ



ウ



#### 社会体験事業（1泊2日）

ア	令和元年10月26日	58名	長野県	「大芝高原 大芝荘」
---	------------	-----	-----	------------

ア



### ③ 地域の強化を図るための地域指導者育成セミナー

熊本地震では災害が起きても一人で逃げるができなかったり、避難所にいっても健常者と同じように生活をするのが困難な人が多くいた。そのため日常から周りとのコミュニケーションを密にしたり、家でも過ごすことができるような対策が必要となってくる。また行政からは現状や課題について話があり、声を上げていく必要性が大事だとも言っていた。講師を迎え講義を行なうとともに参加者によるグループ討議を7ヶ所で実施した。

(別紙5)

ア	令和元年9月7日～8日	22名	岐阜県	「高山市民文化会館」
イ	令和元年10月6日～7日	24名	北海道	「かでの2.7」
ウ	令和元年10月19日～20日	24名	福島県	「飯坂ホテル聚楽」
エ	令和元年10月23日～24日	39名	新潟県	「ANAクラウンプラザホテル新潟」
オ	令和元年10月26日～27日	30名	熊本県	「アークホテル熊本城前」
カ	令和元年11月30日～12月1日	28名	広島県	「広島市総合福祉センター」
キ	令和元年12月7日～8日	44名	京都府	「ホテルビナリオ嵯峨嵐山」

ア



イ



ウ



エ



オ



カ



キ



(別紙5)

## 2 予想される事業実施効果

### ① 障害児者と家族、支援者のための指導誌の発行

障害者施策だけでなく、行政や企業、大学で研究、開発されている技術や医療の進歩は目覚ましく、情報の収集スキルの違いで障害児者やその家族に格差が生じる懸念がある。障害者とその家族の高齢化は進んでおりパソコンスキルが低い人が多い。47都道府県支部の会員を始め、特別支援学校PTAや施設等において障害者差別を建設的提案によって理解を深め、解消することに使える教本として有効に活用される。障害の有無に関係なく共に暮らす社会（共生社会）の実現に向けての活動に貢献することができる。

### ② 障害児者と家族支援者の地域交流と療育訓練事業

障害児者は、ボランティアとの交流や、年齢、生活習慣の違う様々な障害児者が集い、一緒に生活することで社会性、自立心向上に繋がっている。保護者は、日常生活における療育方法、肢体不自由児者に対する負担の少ない介護方法を習得することができた。地元での会議や勉強会でキャンプに参加できなかった方々に報告することで介護負担の軽減を周知でき、地域活性化に繋がっていく。ボランティア、特に福祉を学ぶ学生には、実践教育の場でもあり支援者の育成に繋がり、また、事業の継続が支援者の拡大、啓蒙活動に繋がっている。

### ③ 地域の強化を図るための地域指導者育成セミナー〈1泊2日〉

災害が起きた際一人で避難することや避難所での生活が困難である。「コミュニティのある応急仮設住宅のあるべき姿」をテーマに講演し、講師に熊本地震の体験を通じて講演をしてもらった。2日目は行政の方を招き現在の取り組みや現状について話してもらった。これからの取り組みや家での避難生活等について参考になったので防災について行政にどのようなことを訴えていったらいいのかを学ぶことができた。このような事業を行うことで触れ合う機会が増え、多くの人にセミナーの良さが伝わっていき今回参加できなかった人でも興味をもってもらえることができると期待される。

(別紙5)

### 3 補助事業に係わる成果物

#### (1) 補助事業により作成したもの

JKA補助事業 (<https://www.zenshiren.or.jp/publics/index/156/>)

#### 障害児者と家族、支援者のための指導誌の発行

指導誌「療育ハンドブック」1回発行

機関誌「いずみ」2回発行

#### 指導誌「療育ハンドブック」

令和2年2月13日発行 B6版 108ページ 4000部

「肢体不自由児者への合理的配慮とは～制度はどのように変わってきているか～」  
制度の歴史や変遷について具体的に書かれている。「合理的配慮と制度」「21世紀に至る制度の歴史」「21世紀の制度の変遷」といったような内容を掲載している。事例を交え、わかりやすく解説した内容としている。

#### 機関誌「いずみ」

ア 令和元年6月20日発行 A4版 32ページ 2500部

令和元年度通常総会報告として事業の概要や活動方針、令和元年度心身障害者に関する予算要望、レクリエーション開催予定表、障害者福祉サービス等報酬改定について、いきいき茨城ゆめ大会の開催案内などを掲載。

イ 令和元年12月20日発行 A4版 32ページ 4000部

JKAの実施報告、療育キャンプ報告、アンケート集計結果、事業内容報告、中央情勢報告。



療育ハンドブック



いずみ 151号



いずみ 152号

(別紙5)

(2)(1) 以外で等事業において作成したもの

東海北陸ブロック

<http://www.zenshiren.or.jp/publics/index/18/#block829-155> 698号

北海道ブロック

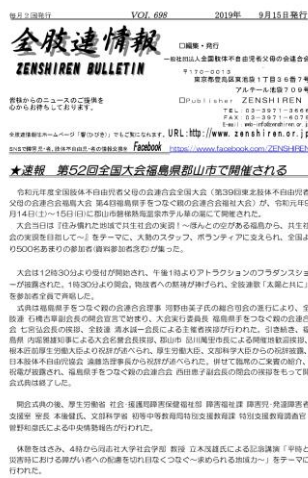
<http://www.zenshiren.or.jp/publics/index/18/#block830-157> 700号

東北ブロック、関東甲信越ブロック、九州ブロック

<http://www.zenshiren.or.jp/publics/index/18/#block834-158> 701号

中国四国ブロック、近畿ブロック

<http://www.zenshiren.or.jp/publics/index/18/#block838-161> 704号



#### 4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般社団法人 全国肢体不自由児者父母の会連合会

(ゼンコクシタイフジユウジシャフボノカイレンゴウカイ)

住所： 〒170-0013

東京都豊島区東池袋1-36-7 アルテール池袋709

代表者： 会長 清水 誠一 (シミズ セイイチ)

担当部署： 事務局

担当者名： 高津 美帆 (タカツ ミホ)

電話番号： 03-3971-3666

F A X： 03-3971-6079

E - m a i l： [web-info@zenshiren.or.jp](mailto:web-info@zenshiren.or.jp)

U R L： <http://www.zenshiren.or.jp>